



奈良マラソン2025 ランナーアンケート (抜粋版)

2026年6月報告



奈良マラソン2025ランナーアンケート調査概要

調査研究グループ

奈良マラソン2025ランナー調査チーム

同志社大学スポーツ健康科学部

二宮浩彰研究室

國學院大學人間開発学部

備前嘉文研究室

大阪産業大学 スポーツ健康学部

國本明德研究室

1. 調査目的：

本調査は、「奈良マラソン2025」参加者を対象として、マラソン参加、ランニング活動、マラソン大会の評価、大会参加に伴う消費支出、地域に対する愛着やイメージ、マラソン大会の参加動機、日常生活、などについて調査することによって、スポーツ参加者の行動様式を明らかにすることを目的としている。調査研究の成果については、よりよい大会運営のための基礎資料として役立てるとともに、奈良の観光振興にとっての一助となることを目指している。

2. 調査方法：

インターネット調査：奈良マラソン2025参加者へのメール連絡において調査実施の案内をして調査協力依頼をした。承諾した参加者がリンク先の「奈良マラソン2025ランナー調査」ウェブサイトにて回答をおこなった。

3. 調査対象：

奈良マラソン2025参加者

4. 調査期間：

2025年12月14日～12月22日

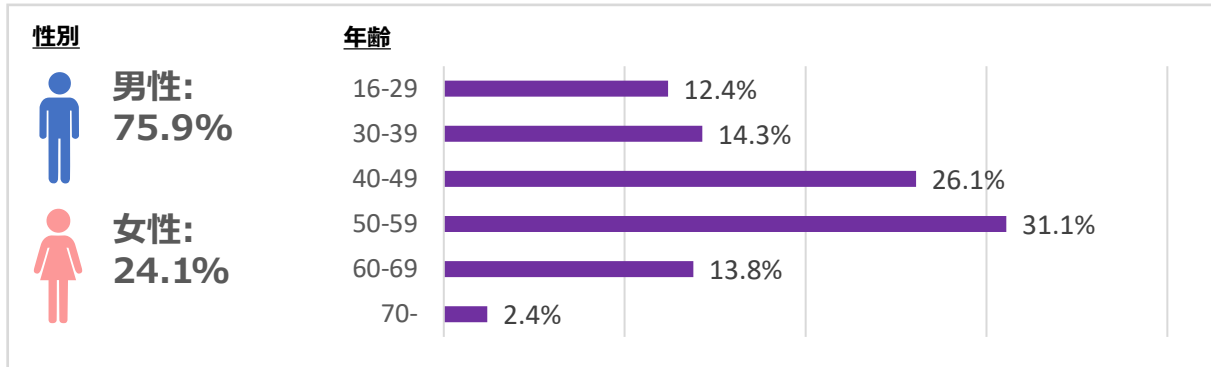
5. 調査結果：

有効回答数 2,076件

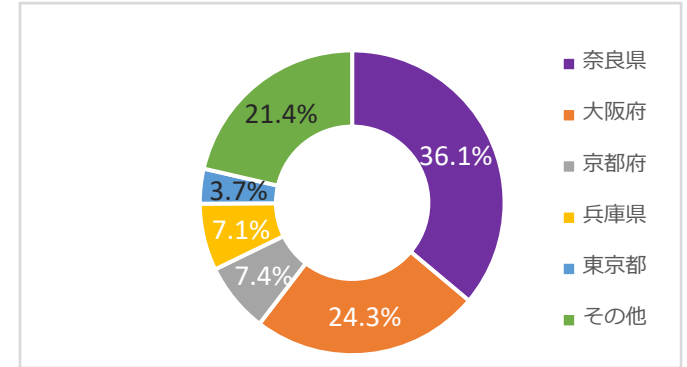


奈良マラソン2025参加者の主な属性

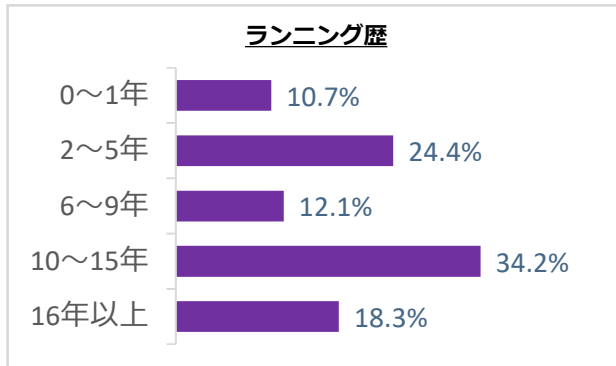
性年代



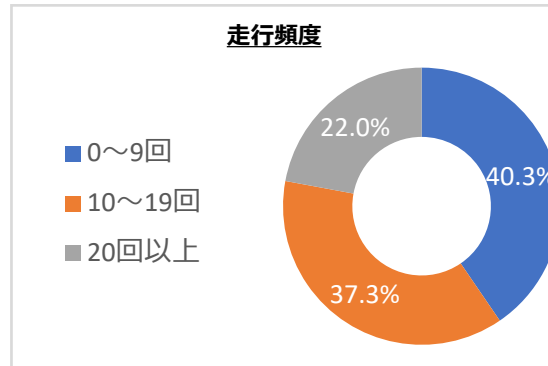
居住地



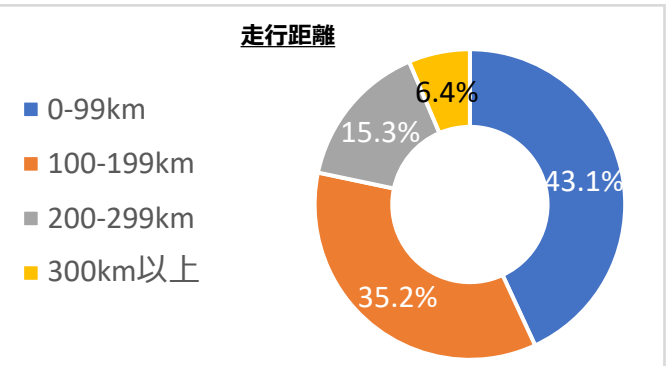
ランニング歴



月間走行頻度



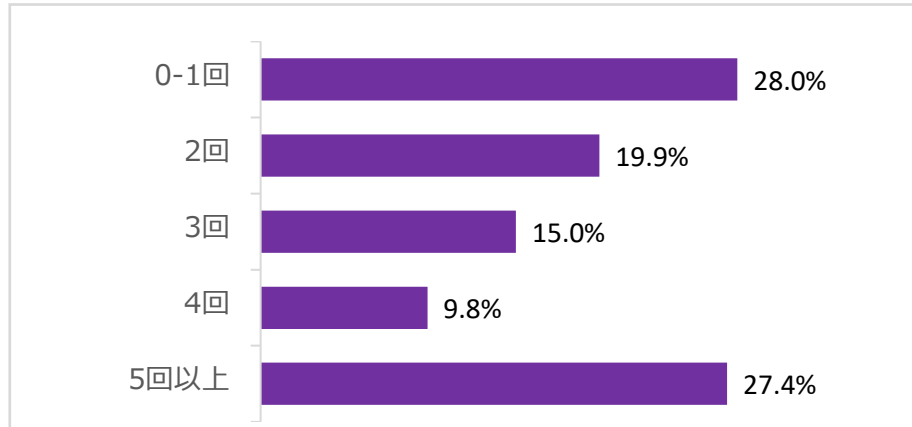
月間走行距離



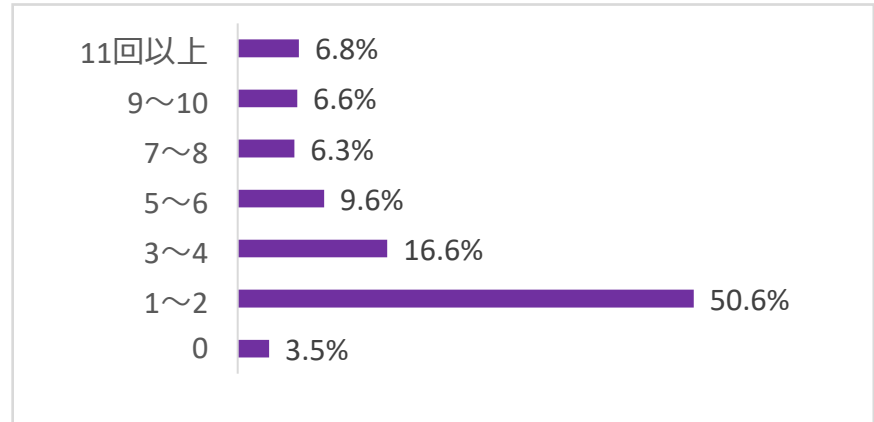


奈良マラソン2025参加者の主な属性

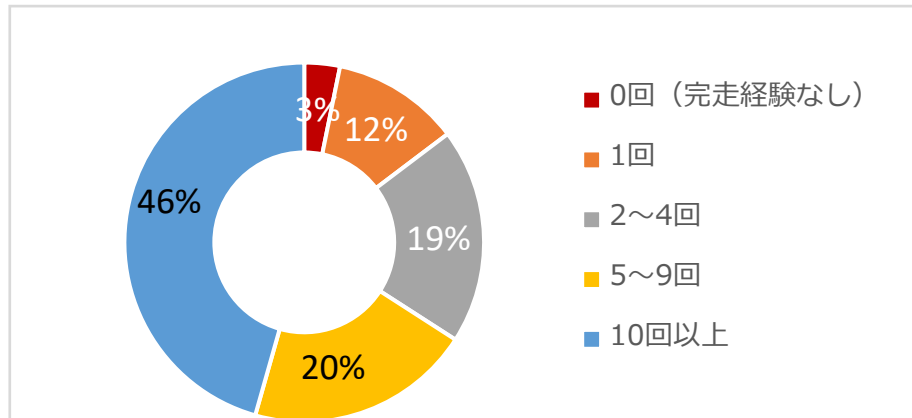
年間ランニング大会出場回数



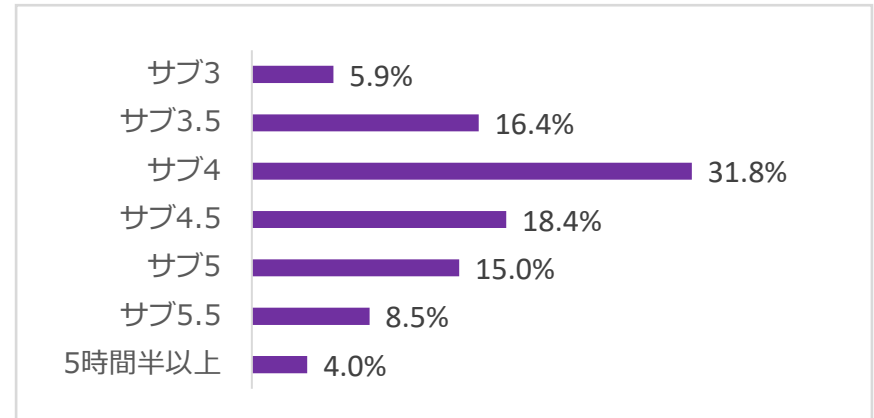
奈良マラソン出場回数



フルマラソン完走回数 (今回含む)



自己ベストタイム (フルマラソン)



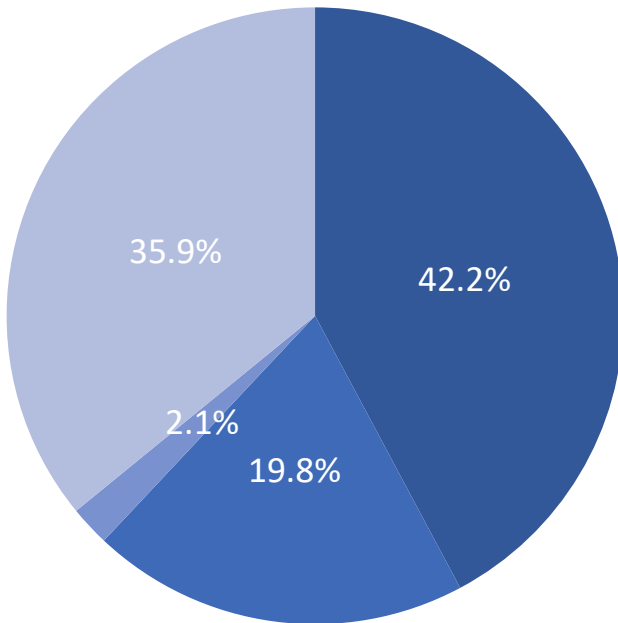
Base : 奈良マラソン参加者 2,076名、自己ベストタイム:エントリーデータのマラソン参加者

交通手段

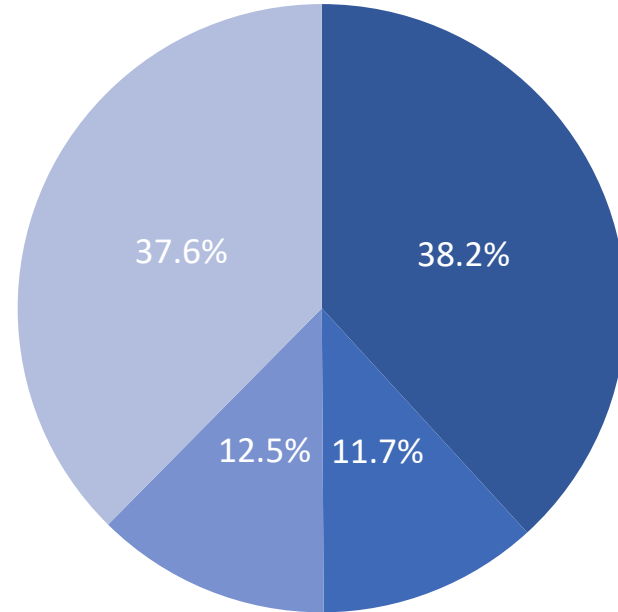


Q10 来場時に利用した駅

12月13日(土)



12月14日(日)

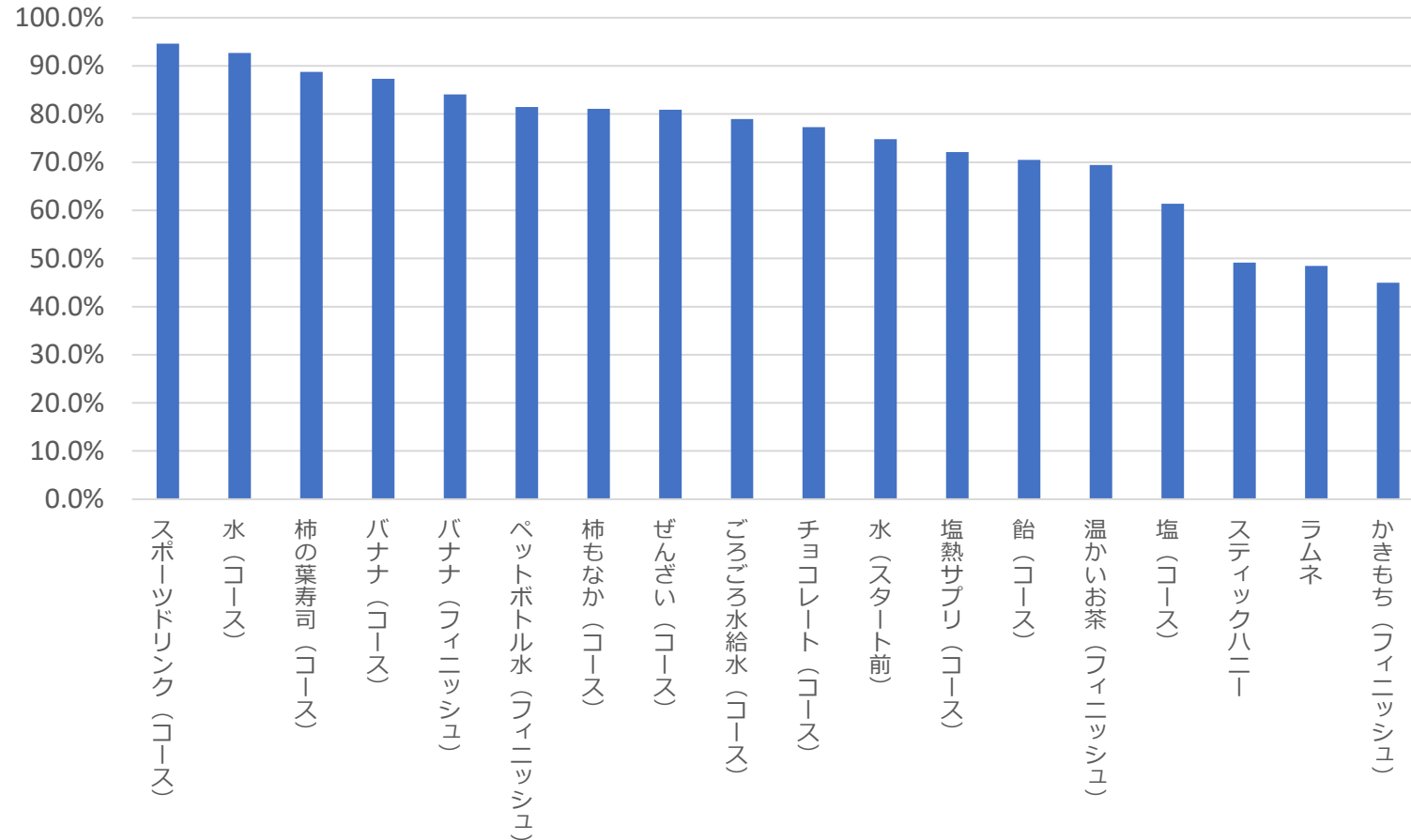


■ 近鉄奈良駅 ■ JR奈良駅 ■ 近鉄高の原駅 ■ その他 (近鉄新大宮駅、徒歩) 等

給水・給食の満足度



奈良マラソン大会の給水・給食についてお聞かせください。
Q13. 給水給食で良かった提供物

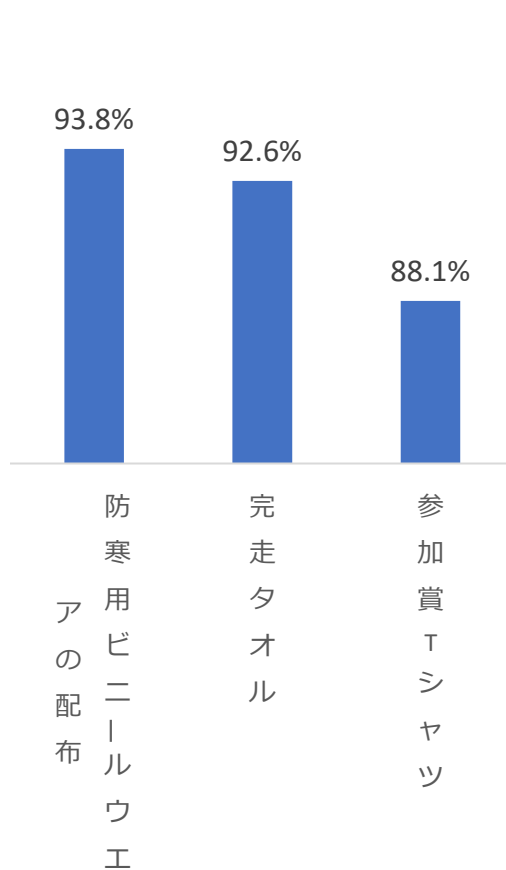


※やや満足・満足の合計値

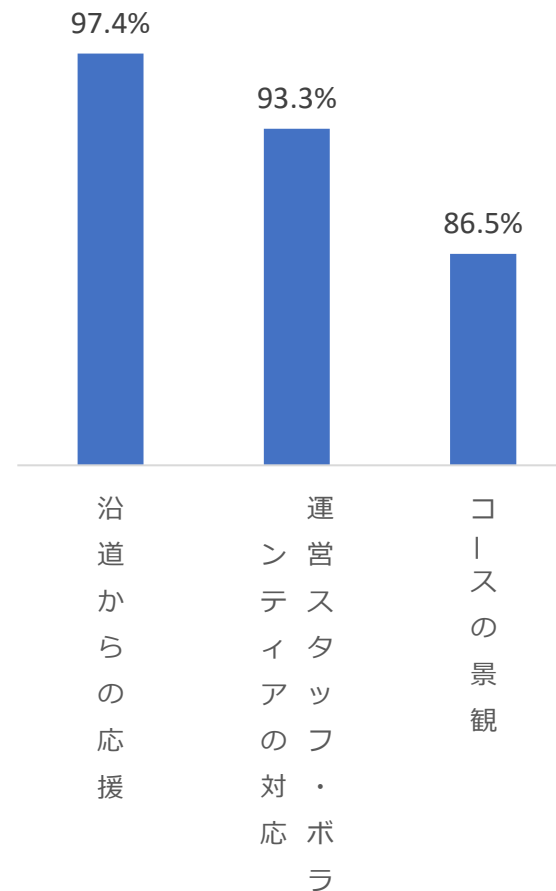
■ 大会運営・サービスの満足度TOP 3



配布物満足度TOP 3



運営・サービスの満足度TOP3

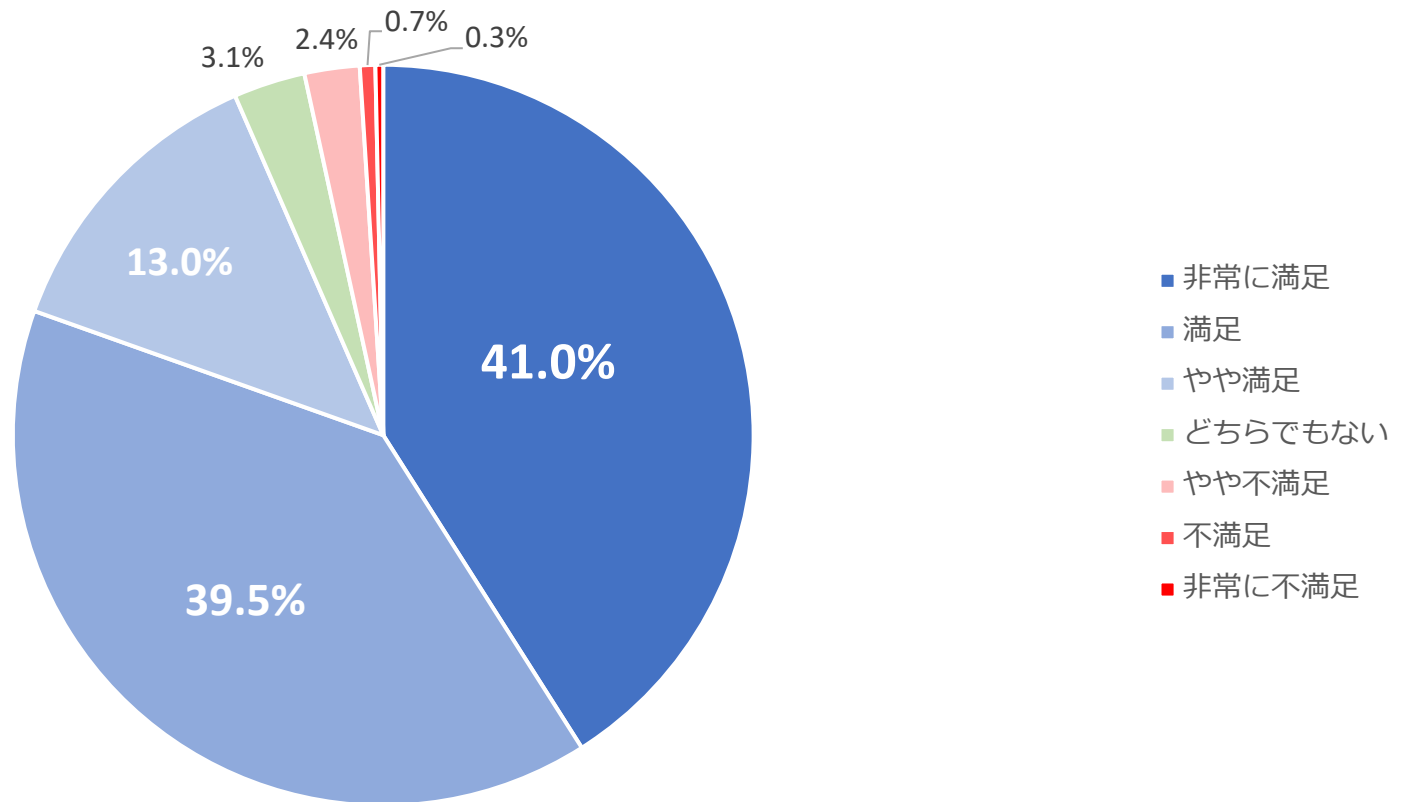


※やや満足・満足の合計値

※防寒用ビニールウェアと参加賞Tシャツはマラソン・ペアリレーマラソン・10Kのみ
※完走タオルはマラソン・ペアリレーマラソンのみ

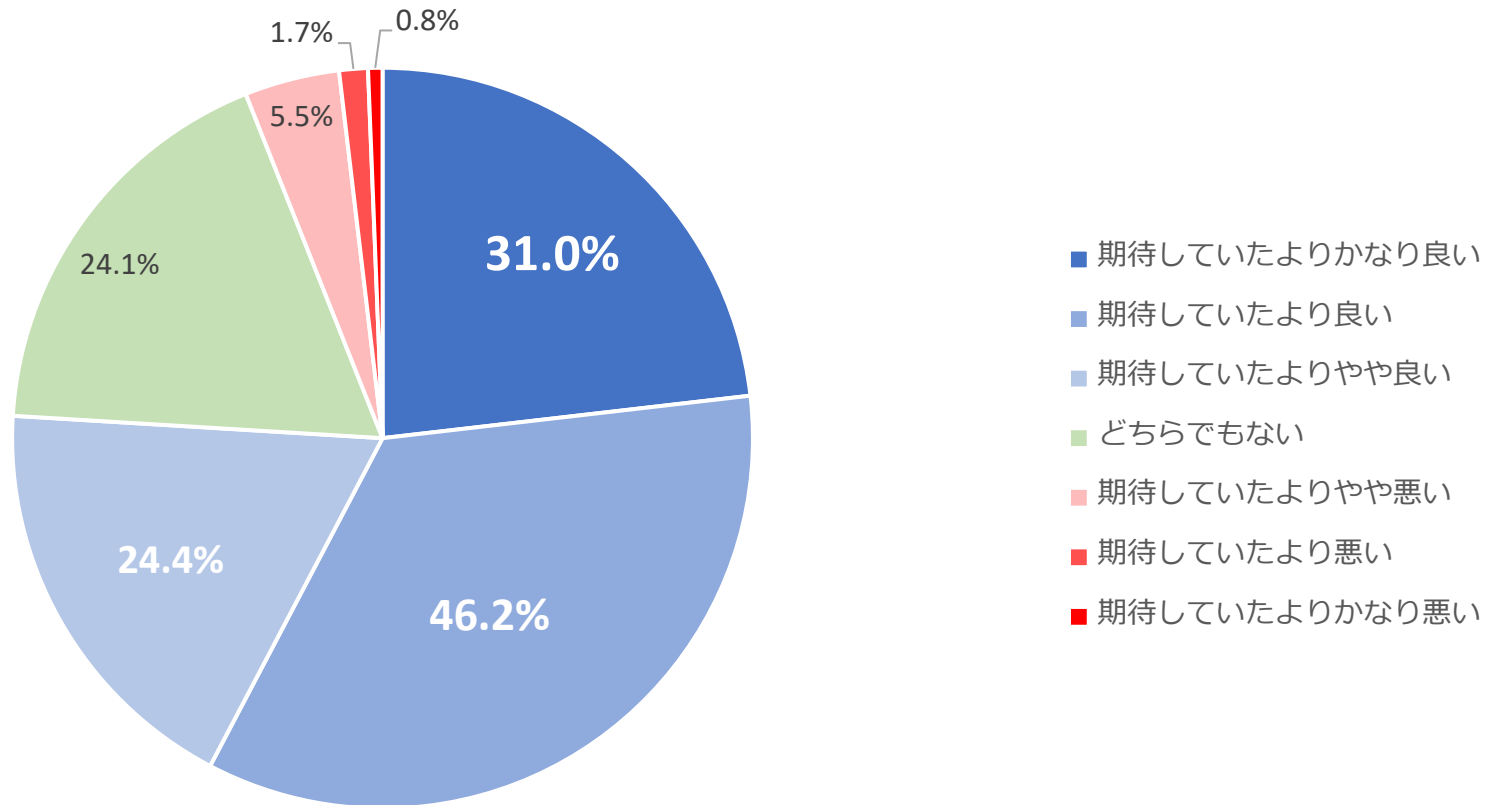
奈良マラソン2025の総合満足度

奈良マラソン2025の評価についてお聞かせください。
Q29. 奈良マラソン大会に対する総合的な評価



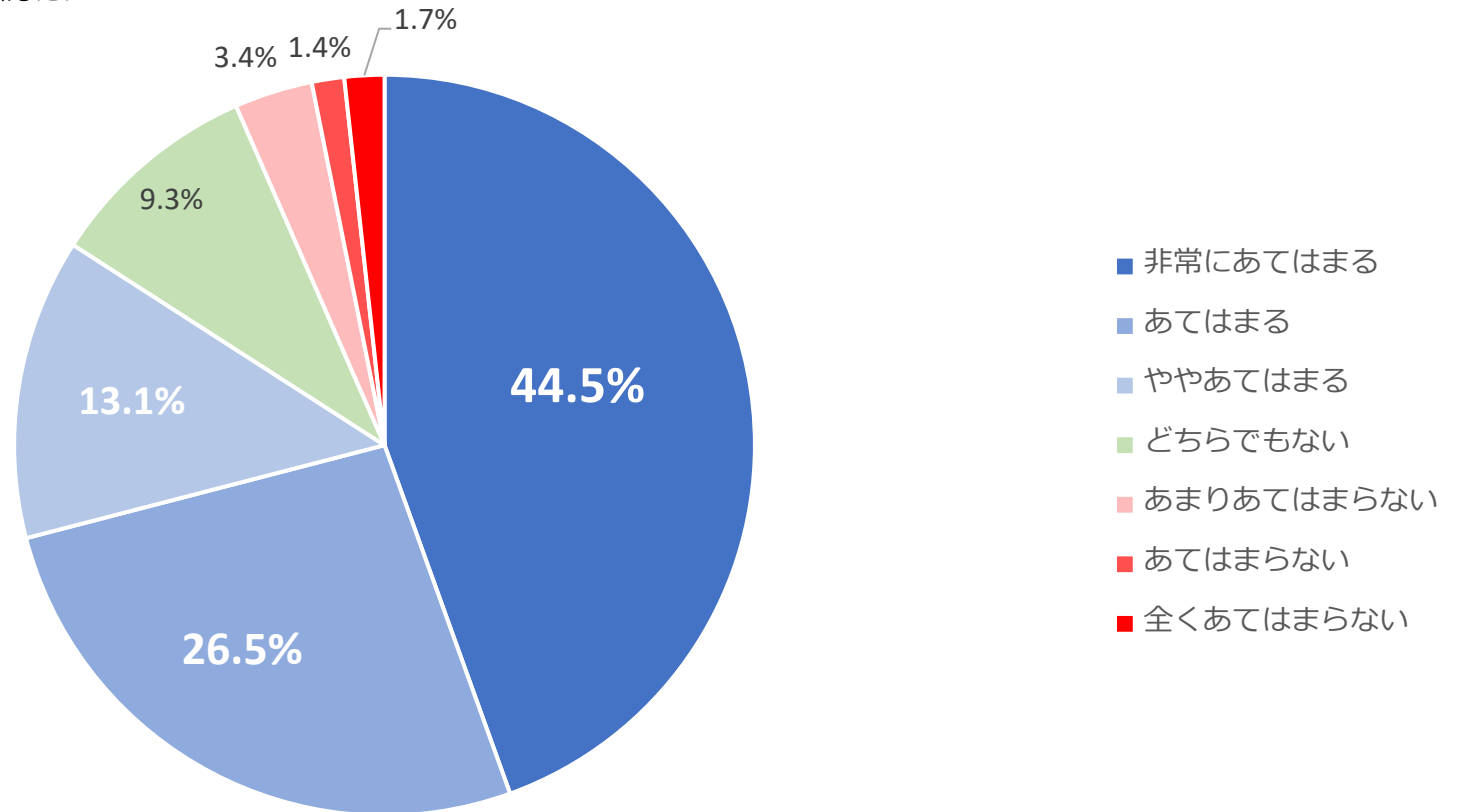
奈良マラソン2025の参加前の期待と評価

奈良マラソン2025の評価についてお聞かせください。
Q30. 奈良マラソン2025に参加する前の期待と比べた評価



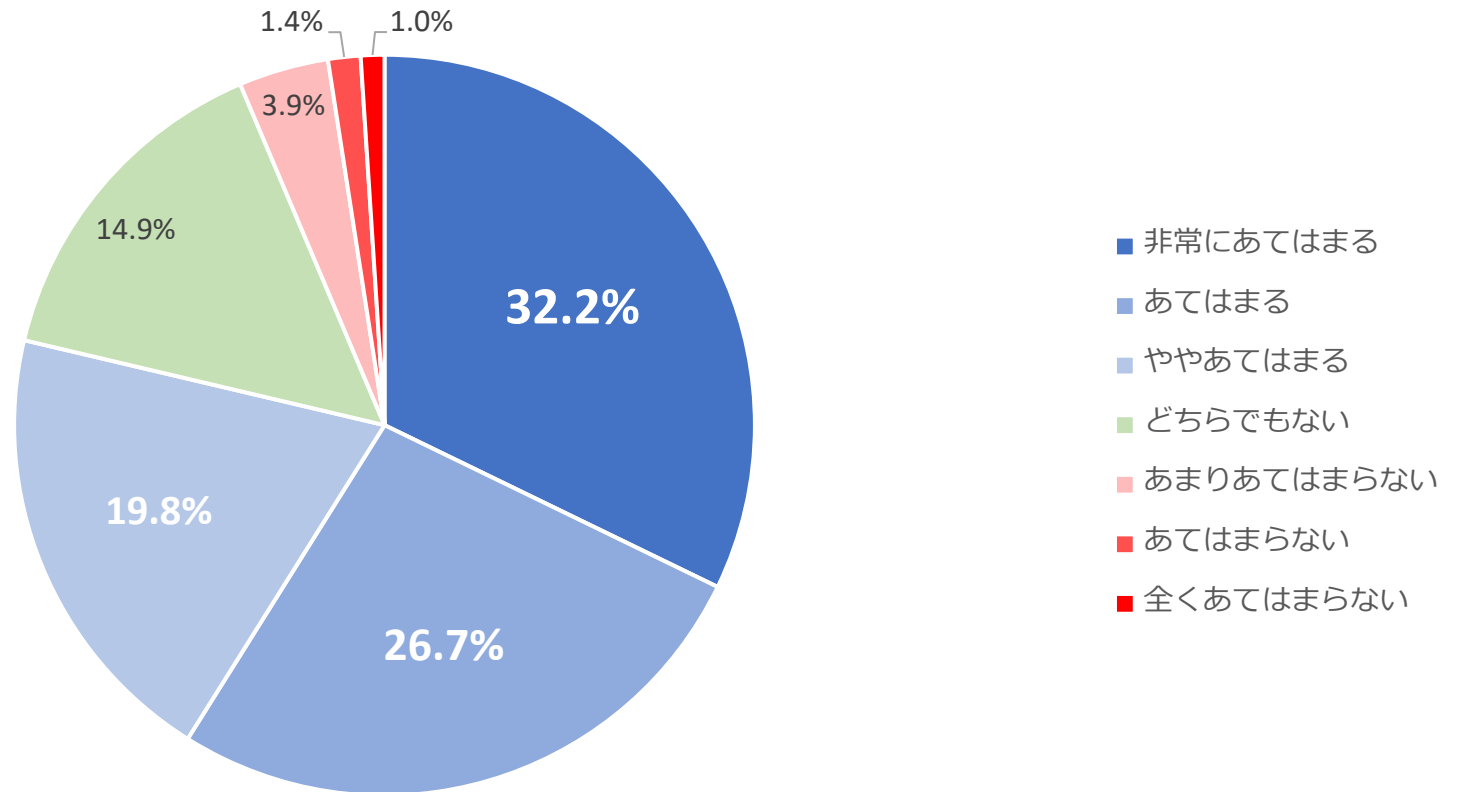
今後の奈良マラソンの参加希望

奈良マラソン2025の評価についてお聞かせください。
Q31. 奈良マラソン2025に参加して、以下の項目にどれくらいあてはまりますか？
今後も奈良マラソンに参加したい



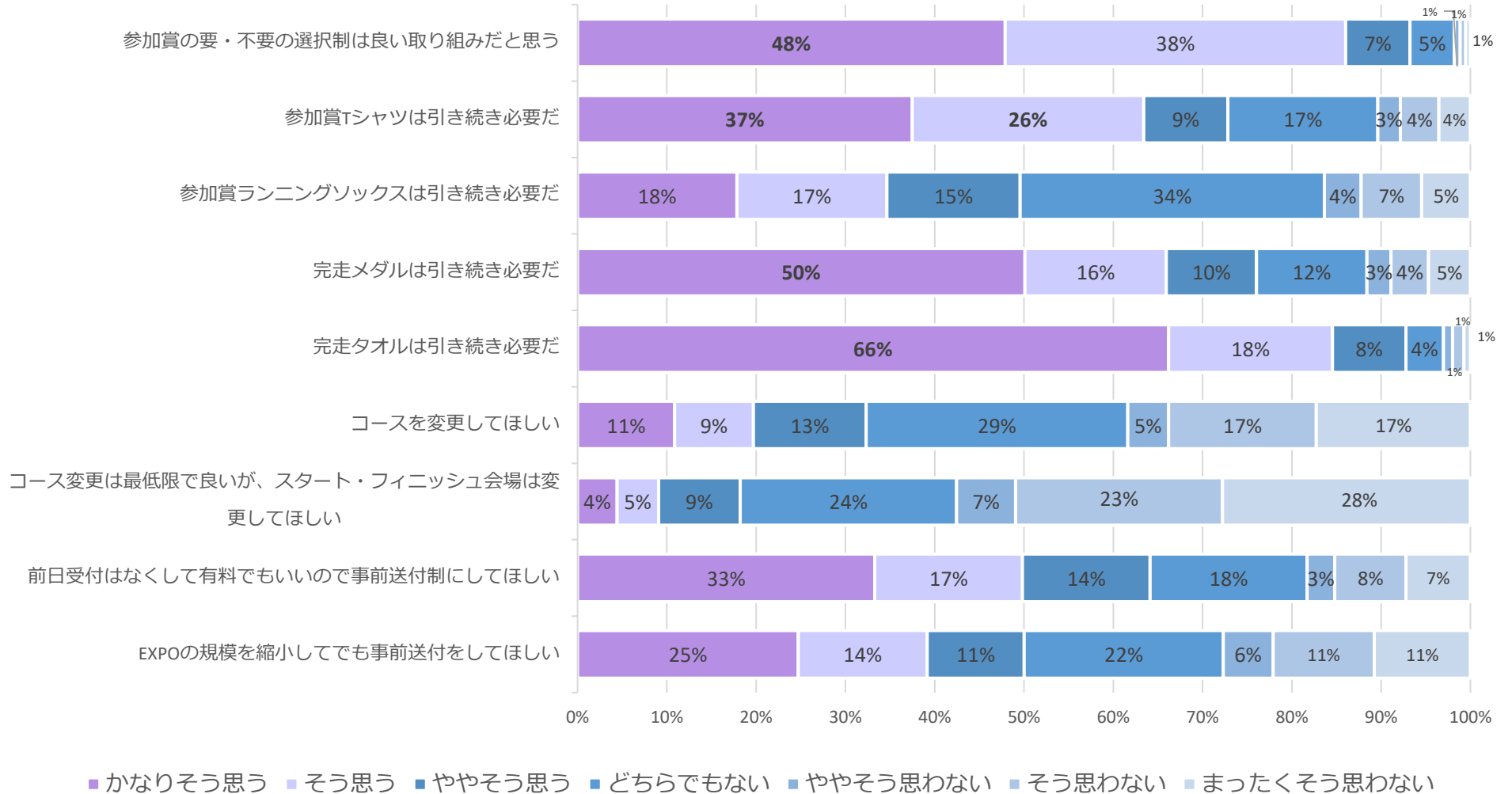
奈良マラソンの推奨

奈良マラソン2025の評価についてお聞かせください。
Q31. 奈良マラソン2025に参加して、以下の項目にどれくらいあてはまりますか？
奈良マラソンを友人・知人に勧めたい



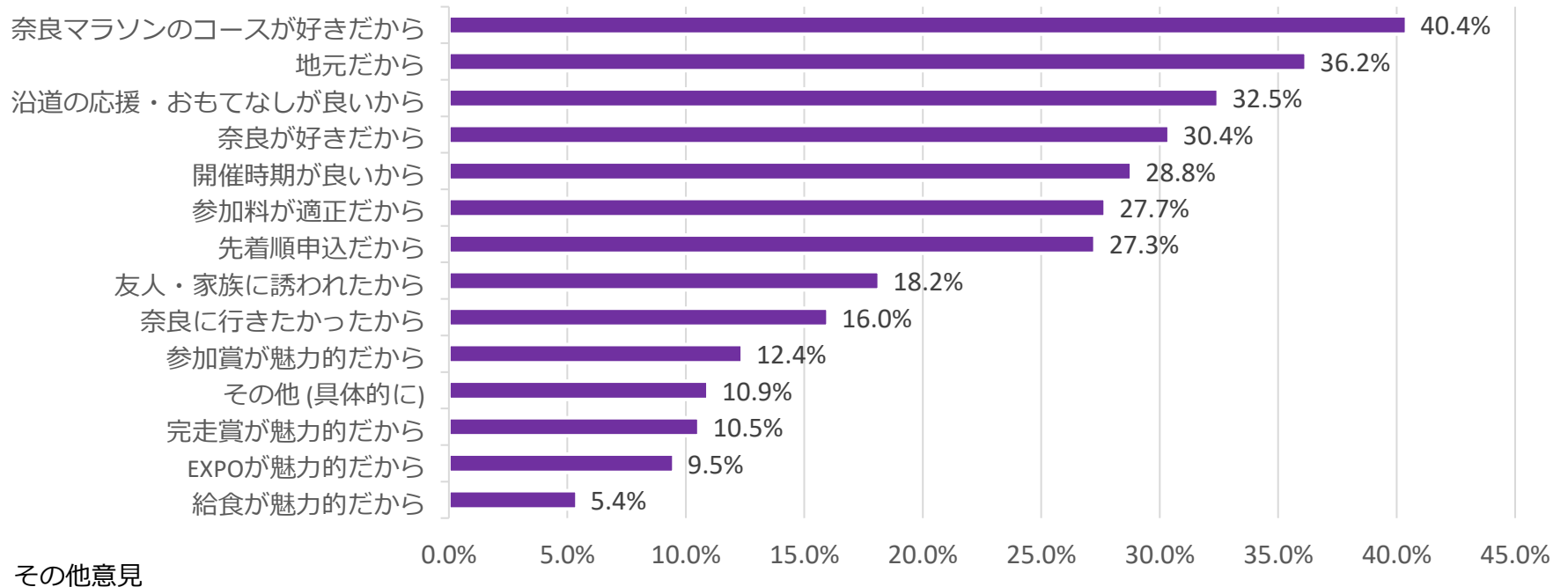
マラソン種目改善についてのご意見

Q.下記の項目について、あなたはどのように考えますか。



奈良マラソンの参加動機

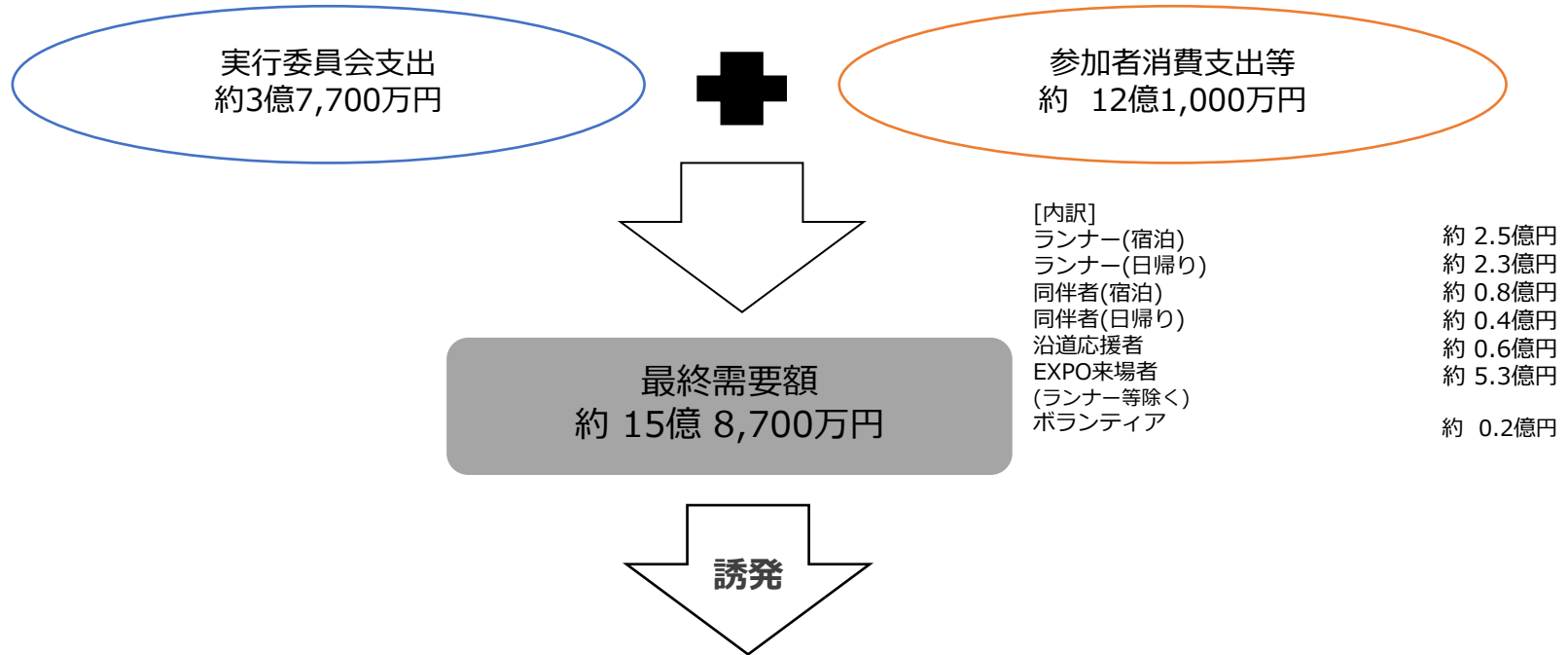
Q.あなたが奈良マラソン2025に出場しようと思った理由を下記から選んでください。特に、他の大会ではなく奈良マラソンを選んだ理由をお聞かせください。
(複数回答)



- アクセス・地元・近い
- 初挑戦・走ってみたかった
- 参加したことがなかったから
- 他大会落選・代替として
- 世界遺産・奈良の魅力
- 知人・家族・友人・仕事
- コース・難易度への挑戦
- 47都道府県・全国制覇
- 毎年の恒例・継続参加
- 完走メダル・参加賞が良かった
- ボランティア・運営・雰囲気
- リベンジ・再挑戦
- 日程・時期・ホテル
- タイム更新・自己ベスト・サブ
- 関西・近畿大会制覇
- 10km・ペア種目の存在
- 大会規模・公認
- 公認大会だったから
- 参加費・エントリーしやすさ
- 健康・練習・地域貢献
- ふるさと納税枠があったから

経済波及効果

※ランナーアンケート質問項目のうち、宿泊状況、各項目の支出実績、同伴者数などから算出



経済波及効果

全国
約**25億4,700万円**
実行委員会支出の6.75倍

奈良県
約**13億円**
実行委員会支出の3.45倍